

# 県身連だより (公益自主事業)

TEL 025-381-1474 FAX 025-381-1478 URL <http://kenshinren.n-fureaiplaza.com/> MAIL [kenshinren@n-fureaiplaza.com](mailto:kenshinren@n-fureaiplaza.com)



## 就任のごあいさつ

社会福祉法人  
新潟県身体障害者団体連合会  
代議員会 会長 にしやま まきお 西山 眞樹雄

今期、引き続き代議員会会長をさせて頂く事になりました。

今年、新潟県身体障害者福祉大会が第五十回目となる記念すべき大きな節目を迎える年です。

また、先人諸兄姉の努力が実り、法の上では昨年四月、障害者差別解消法が施行され、福祉行政が又一步進み、私たちの生活環境がより良くなる事と思っています。諸兄姉の努力に改めて敬意を表しま

すとともに、私たちは引き続きこの法律を地域において更に実効性のあるものとするための努力をしていかなければならないと感じております。

次の節目の出発点ともなるこれからの県身連の課題をあげさせて頂きます。

ここ二十年くらいの間に障害者手帳を取得された皆様、新潟県には手帳を持っておられる方が約九万人おられます。しかし、今年、県身連の会員は四千人を切りそうであります。

皆様には地域福祉行政、地域団体がどの様になっているか、先人の努力を享受するにとどまらず、自分の出来る事が何かを考えて頂き、地域団体の存続に御理解、御支援を賜りますようお願い申し上げます。会長に就任の挨拶といたします。

## 代議員の紹介

◎今年度、公益自主事業は新たなメンバーでスタートしました。よろしく願いいたします。

【会長】西山 眞樹雄

【副会長】中村 芳郎 藤田 芳雄

代議員

(敬称略)

区分	氏名	所属団体	区分	氏名	所属団体
第1地区	<small>くぼた いくひろ</small> 久保田 育宏	胎内市身体障害者福祉協会	第5地区	<small>ふじた よしお</small> 藤田 芳雄	長岡市身体障害者団体連合会
第2地区	<small>にしやま まきお</small> 西山 眞樹雄	五泉市身体障害者福祉協会	第6地区	<small>しおや ときお</small> 塩谷 寿雄	南魚沼市身体障がい者協会
第3地区	<small>はっとり みつお</small> 服部 光雄	佐渡市身体障がい者福祉協議会	第7地区	<small>しもとり まさひろ</small> 霜鳥 正弘	妙高市身体障がい者福祉協会
第4地区	<small>なかむら よしろう</small> 中村 芳郎	燕市身体障害者福祉協会	障害種別	<small>おがさわら とめお</small> 小笠原 留男	新潟県美鈴会

## 第62回日本身体障害者福祉大会「ぎふ清流大会」が開催されました

5月30日、31日に岐阜県岐阜市で開催された大会は、全国から身体障害者団体連合会の会員などがおよそ2,500名参加し、盛大に開催されました。

31日の大会式典では、日本身体障害者団体連合会の阿部会長が挨拶され、岐阜県知事を始めとする来賓の挨拶の後、全国の身体障害者福祉功労者(55名)が表彰されました。

議事では、日本身体障害者団体連合会の平成28年度事業報告と平成29年度事業計画が報告された後、大会宣言、大会決議が採択されました。

今回の大会には、交通事情などのため県身連ツアーは実施せず、事務局のみの参加となりました。来年は群馬県で開催されます。

### 大会決議

- 一、心のバリアフリーの推進を図ろう
- 一、障害の社会モデルの考え方を全国に広げよう
- 一、障害者差別を禁止する条例を全国に制定させよう
- 一、地域の相談支援体制に身体障害者相談員を活用させよう
- 一、会員減少に歯止めをかけ、組織の活性化を図ろう

平成29年5月31日

第62回日本身体障害者福祉大会ぎふ清流大会

# 平成29年度地域団体指導者研修会・会員総会が開催されました

去る6月27日（火）新潟ふれ愛プラザにおいて「平成29年度地域団体指導者研修会・会員総会」が開催されました。会員総会では、代議員会において審議、決定した平成28年度決算、平成29年度収支予算等について地域団体長等に報告するとともに、懸案事項等について意見交換を行ないました。

また、研修会では、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会技術委員会委員並びに、新潟県障害者スポーツ協会業務執行理事でもある当法人の丸田 徹 理事より「地域の障害者スポーツの普及促進とスポーツ指導者」をテーマに講演を行ないました。選手の育成に日々奮闘する中で、スポーツ指導者としての心構え等について実例を挙げながら話されました。参加者からは、指導者として個々の障害を個性と捉え、可能性を最大限に引き出していこうとする懸命な姿勢に「感銘を受けた」との声も聞かれ、とても有意義な講演となりました。



研修会の様子

## 平成28年度 公益事業決算報告

\*当期における公益事業の決算概要は以下のとおりです。

### 資金収支計算書

(自平成28年4月1日 至平成29年3月31日) (単位:円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支			
収入			
その他の事業収入	1,377,000	1,375,400	1,600
会費収入	1,711,000	1,721,400	△10,400
経常経費寄附金収入		70,631	△70,631
受取利息配当金収入	2,000	640	1,360
その他の収入	8,126,000	8,204,264	△78,264
事業活動収入計(1)	11,216,000	11,372,335	△156,335
支出			
事業費支出	4,885,000	4,854,901	30,099
事務費支出	6,317,000	6,180,677	136,323
流動資産評価損等による資金減少額	13,000	12,127	873
事業活動支出計(2)	11,215,000	11,047,705	167,295
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	1,000	324,630	△323,630
施設整備等による収支			
収入			
施設整備等収入計(4)			
支出			
施設整備等支出計(5)			
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)			
その他の活動による収支			
収入			
その他の活動収入計(7)			
支出			
その他の活動支出計(8)			
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)			
予備費支出(10)			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	1,000	324,630	△323,630
前期末支払資金残高(12)	12,633,778	12,634,536	△758
当期末支払資金残高(11)+(12)	12,634,778	12,959,166	△324,388

### 事業活動計算書

(自平成28年4月1日 至平成29年3月31日) (単位:円)

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部			
収益			
その他の事業収益	1,375,400	1,376,000	△600
会費収益	1,721,400	1,947,200	△225,800
経常経費寄附金収益	70,631	380,161	△309,530
サービス活動収益計(1)	3,167,431	3,703,361	△535,930
費用			
事業費	4,854,901	4,891,671	△36,770
事務費	6,180,677	7,017,772	△837,095
徴収不能額	12,127		12,127
サービス活動費用計(2)	11,047,705	11,909,443	△861,738
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△7,880,274	△8,206,082	325,808
サービス活動外増減の部			
収益			
受取利息配当金収益	640	3,035	△2,395
その他のサービス活動外収益	8,204,264	8,165,961	38,303
サービス活動外収益計(4)	8,204,904	8,168,996	35,908
費用			
サービス活動外費用計(5)			
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	8,204,904	8,168,996	35,908
経常増減差額(7)=(3)+(6)	324,630	△37,086	361,716
特別増減の部			
収益			
特別収益計(8)			
費用			
特別費用計(9)			
特別増減差額(10)=(8)-(9)			
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	324,630	△37,086	361,716
繰越活動増減差額の部			
前期繰越活動増減差額(12)	12,634,536	12,671,622	△37,086
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	12,959,166	12,634,536	324,630
繰越活動増減差額の部			
基本金取崩額(14)			
その他の積立金取崩額(15)			
その他の積立金積立額(16)			
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	12,959,166	12,634,536	324,630

### 貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位:円)

科目	資産の部			負債の部			
	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	14,901,272	14,143,357	757,915	流動負債	1,942,106	1,508,821	433,285
現金預金	14,812,312	14,035,798	776,514	事業未払金	1,777,846	1,358,341	419,505
事業未収金		20,419	△20,419	預り金	164,260	150,480	13,780
立替金	88,960	87,140	1,820	負債の部合計	1,942,106	1,508,821	433,285
資産の部合計	14,901,272	14,143,357	757,915	繰越活動増減差額の部			
				次期繰越活動増減差額	12,959,166	12,634,536	324,630
				(うち当期活動増減差額)	324,630	△37,086	361,716
				純資産の部合計	12,959,166	12,634,536	324,630
				負債及び純資産の部合計	14,901,272	14,143,357	757,915